

IoT実装関連の動向等

【回答自治体：福岡市】

事業名	
実施期間	
概要	<p>○福岡市IoTコンソーシアム内の各ワーキンググループ H30年度は、コンソーシアム会員が企画・運営するWGとなり、現在「次世代ものづくりWG」と「IoT検定・IoTリテラシーWG」の2つのWGが活動中である。（事務局はWG運営を支援）</p> <p>OLPWA（LoRa）通信網 平成29年度から「Fukuoka City LoRaWAN(TM)」として市内に実証実験フィールドの提供を開始。 自治体が整備するエリアとしては日本最大規模で、実証実験で利用する方は無償で利用でき、30年度も継続運営している。 前回会合以降にプレスリリースしてきた実証実験事例は下記のようなものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天神市街での人流の可視化の実証 ・福岡マラソン2018での実証 <p>【参考】前回会合までにプレスリリースした実証実験事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ため池の水位モニタリング ・子どもの通塾見守り ・保育所でのIoT活用 ・河川の水位モニタリング ・イベント時の位置情報 ・スマート水道メーター

○福岡市実証実験フルサポート事業

平成 28 年度から、AI や IoT 等の先端技術を活用した実証実験プロジェクトを全国から公募し、優秀なプロジェクトの市内での実証実験を全面的にサポートしている。採択件数：37 件（H31.1.23 現在）

〈前回会合以降の主な実証実験プロジェクト〉

- ・キャッシュレス
- ・スポーツテック
- ・AI 引越し・証明案内サービス
- ・シェア型電動キックボード

【参考】〈前回会合までの主な実証実験プロジェクト〉

- ・単体で LTE 通信する IoT 電子錠
- ・体調変化を予兆するスマートウェア
- ・ビーコンを活用した見守りサービス
- ・生体センサー遠隔モニタリング
- ・尿化学分析による病気予兆モニタリング

○Fukuoka AI Community

福岡市内企業等の AI 活用による、労働生産性向上や新サービス創出等を図ることを目的として、平成 29 年 12 月 5 日に設立。会員数：現在約 180 社（H31.1.23 現在）

AI サービス・活用事例を紹介するセミナー、勉強会、実証実験支援、新サービスの広報支援を実施し、AI 活用推進に取り組んでいる。

平成 30 年度においては、福岡市が募集していた「行政サービス効率化を目的とした実証実験の提案」を当該コミュニティのイベントでも告知し、会員企業とともに実証実験を行っている。

- ・H30.9.19～H31.2.28（予定）：AI チャットボットを活用した LINE での粗大ごみ収

集受付

- H30.10.1～H31.6月末（予定）：国民健康保険レセプト点検自動化実証実験
平成31年度においても引き続き活動を継続していく。

平成30年8月3日

経済観光文化局新産業振興課

天神市街での人流の可視化の実証

2018年8月3日（金）から5日（日）に開催される「天神夏まつり 2018」会場を中心に人感センサーを設置し、Fukuoka City LoRaWAN™※1を利用してクラウド化し人流を可視化する実証実験が行われます。

上記データを解析し、イベントなどによる街の活性化や会場から周辺への波及効果の検証も併せて実施されます。

< 実証概要 >

- (1) 実証内容：10箇所到人感センサー“Sign Type-B IoT”を設置し、データをアプリケーション側に表示させ、人流を可視化させます。
- (2) 実証期間：平成30年7月27日（金）～8月5日（日）
- (3) 実証者：天神ユナイテッド事務局、株式会社センサーズ・アンド・ワークス



計測は赤外線検知方式であり、プライバシーを侵害するものではありません。

※1 LoRaWAN™：Long Range Wide Area Networkの略称。少ない電力で広く繋がる通信ネットワーク。LoRaWAN™の名称は、Semtech Corporationの商標。

○問い合わせ先

①事業全体：福岡市経済観光文化局新産業振興課（担当：梯（かひ）はし，大塚）

電話：092-711-4334（内線2519）FAX：092-733-5901 E-mail: shinsangyo.EPB@city.fukuoka.lg.jp

②実証者：天神ユナイテッド（担当：田代）電話：092-741-0711

株式会社センサーズ・アンド・ワークス（担当：隅田）電話：078-335-6515

平成30年11月7日
経済観光文化局新産業振興課

福岡マラソン 2018 での実証

平成30年11月11日（日）に開催される「福岡マラソン 2018」でランナーの位置が一目でわかる位置情報サービスの実証が行われます。

ランナーの走行情報や給水ポイント、收容関門のタイムなど、お持ちのスマホからブラウザでカンタンに確認可能になります。

詳しくはこちら <http://urx.red/N9Iy>

< 実証概要 >

- (1) 実証内容：福岡マラソン 2018 の参加ランナー 40名に専用のセンサー端末（腕時計型）を身につけていただき、ホームページ上で現在地を公開。
- (2) 実証期間：平成30年11月11日（日）
- (3) 実証者：エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社



※1 LoRaWAN™：Long Range Wide Area Network の略称。少ない電力で広く繋がる通信ネットワーク。LoRaWAN™の名称は、Semtech Corporation の商標。

○問い合わせ先

- ①事業全体：福岡市経済観光文化局新産業振興課（担当：梯（かけはし），大塚）
電話：092-711-4334（内線 2519） FAX：092-733-5901 E-mail: shinsangyo.EPB@city.fukuoka.lg.jp
- ②実証者：エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社（担当：中津川）
電話：03-6810-2627 E-mail: r.nakatsugawa@ntt-bp.com

市政記者各位

平成30年6月8日
福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

福岡市実証実験フルサポート事業 『キャッシュレス』採択プロジェクト授賞式

福岡市と福岡地域戦略推進協議会(FDC)では、AIやIoT等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しています。

この度、5月に募集した「キャッシュレス」に関する実証実験の採択プロジェクトを決定し、下記のとおり授賞式を行いますので、当日の取材をよろしくお願いたします。

1.日時

平成30年6月12日(火) 14時～14時30分

2.場所

福岡市スタートアップカフェ (中央区大名 2-6-11 Fukuoka Growth Next 1F)

3.出席者

- ・福岡市長 高島 宗一郎
- ・福岡地域戦略推進協議会 事務局長 石丸 修平 (いしまる・しゅうへい)
- ・採択プロジェクト実施事業者 代表

4.内容(予定)

- ・市長挨拶
- ・福岡地域戦略推進協議会 事務局長挨拶
- ・市長から採択者へパネル授与/写真撮影
- ・フォトセッション(全員)
- ・福岡市施設における採択プロジェクト紹介(実施事業者によるプレゼン)
- ・質疑応答等

※授賞式終了後、民間施設における採択プロジェクトの紹介(プレゼン・各社3分)を実施します。

5.採択プロジェクト(別紙参照)

6.問い合わせ

福岡市総務企画局企画調整部

担当: 藤本、上田

電話: 092-711-4959 (内線 1227)

〈別紙〉

■採択件数及び応募件数

対象施設	採択件数	応募件数
福岡市施設	1 件	8 件
民間施設	8 件	17 件

■福岡市施設 採択プロジェクト

プロジェクト名	事業者名
真のキャッシュレス社会実現に向けた、 決済コミュニケーション施策実証実験	LINE 株式会社（代表事業者） LINE Pay 株式会社（共同事業者） LINE Fukuoka 株式会社（共同事業者）

■民間施設 採択プロジェクト

プロジェクト名	事業者名
店頭掲示 QR 方式 アリペイ導入推進事業	ジャクール株式会社
民間施設向けキャッシュレス化事業	NIPPON Tablet 株式会社
福岡市キャッシュレス実証実験プロジェクト	楽天株式会社
YOKA!Pay によるキャッシュレス推進実証実験	株式会社福岡銀行
Origami Pay「キャッシュレス FUKUOKA」 実証実験プロジェクト	株式会社 Origami
福岡市の民間施設を対象とした キャッシュレス 社会実現のための実証実験	LINE 株式会社（代表事業者） LINE Pay 株式会社（共同事業者） LINE Fukuoka 株式会社（共同事業者）
実店舗向け Yahoo!ウォレットを活用した キャ ッシュレス体験企画	ヤフー株式会社
IT ツールの複合的利活用経営の実現	株式会社マネーフォワード, 一般社団法人 BusinessIT 推進協会

市政記者各位

平成 30 年 12 月 14 日

福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

福岡市実証実験フルサポート事業 採択プロジェクト授賞式の開催 ～「スポーツテック」「AI 引っ越し・証明案内サービス」など～

福岡市と福岡地域戦略推進協議会(FDC)では、AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しています。

この度、「スポーツテック」、「AI 引っ越し・証明案内サービス」、「2018 年度第 2 期（8 月～11 月受付分）」の実証実験プロジェクト 7 件の採択を決定し、下記のとおり授賞式を行います。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、奮って取材賜りますようお願い申し上げます。

1.日時

平成 30 年 12 月 18 日（火） 11 時 00 分～11 時 30 分

2.場所

福岡市スタートアップカフェ（中央区大名 2-6-11 Fukuoka Growth Next 1F）

3.出席者

- ・福岡市長 高島 宗一郎
- ・福岡地域戦略推進協議会 事務局長 石丸 修平（いしまる・しゅうへい）
- ・採択プロジェクト実施事業者 代表

4.内容（予定）

- ・市長挨拶
- ・市長から採択者へパネル授与／写真撮影
- ・フォトセッション（全員）
- ・採択プロジェクト紹介（実施主体によるプレゼンテーション・各社 2 分）

5.採択プロジェクト（別紙参照）

6.問い合わせ

福岡市総務企画局企画調整部

担当：藤本、上田

電話：092-711-4959（内線 1227）

採択プロジェクト実施主体とそのテーマ

【スポーツテック】4件採択（応募9件）

株式会社 diffeasy



大会運営 向上心

空手道・剣道・柔道等の大会運営者の負担を軽減するため、大会運営サポートサービス「向上心」を直感的に利用できるシステムに改良し、当社の人員配置ゼロを目指す。また、会場の混雑緩和のため、停止回数ゼロのWeb中継の実現を図る。

株式会社ワイアードゲート

WIREDGATE Inc.

遠隔コーチングによるランニング指導の効率化およびパフォーマンス向上とケガ予防

誰でも・どこでも、質が高く、ケガをしにくいトレーニングを受けることができるよう、AIスマートインソールを使い、競技者の走行データを可視化し、遠隔地にいるコーチ・専門家がアドバイスをを行う、遠隔コーチングシステムを開発し、有用性を検証する。

株式会社スポーツセンシング

スポーツの現場を効率化するIoT連携型スポーツコミュニケーションシステム



音声コミュニケーションに加え、手書き画像やIoTによる自動情報収集（温度や進捗状況等）を一元管理できるツールおよびサービスを開発～適用することで、スポーツの現場における省力化/少人数化と情報の高密度化を同時に実現することにより、大会運営の円滑さ、運営コストの削減、試合中のリアルタイム分析までを検証する。

帝人フロンティアセンシング株式会社

シャツ型ウェアラブル心拍センサを用いた複数人一括モニタリングとリスク管理システム



自分自身の状態把握を行いながら、適切な負荷とケガのリスクを最小限にし、パフォーマンスを最大にするため、シャツ型ウェアラブル心拍/モーション計測デバイスを用いることにより、複数人一括の心拍値と活動量モニタリングを実現し、安全かつ最適なパフォーマンス管理を検証する。

【AI引越し・証明案内サービス】（応募3件）

LINE株式会社, LINE Pay株式会社, LINE Fukuoka株式会社



LINE Smart Government AI引越証明書案内

LINEの自動対話システム（チャットボット）を使い引越しを行う方に必要な手続き・書類等の情報をLINEアカウント上で取得、手数料はモバイル送金・決済サービス「LINE Pay」で支払えるようにするなどし、利用者の利用状況・満足度の検証を行う。

【2018年度第2期】（応募5件）

AnyPay株式会社



シェア型電動キックボードによる域内移動効率化、ラストワンマイル問題の解決

シェア型電動キックボードを特定エリアに配備し、域内移動の活性化・効率を図るとともに、ラストワンマイルを支える新たな交通インフラを目指し、車体や路面のマッチング・利用ニーズ・料金体系などについて、検証を行う。

大日本印刷株式会社



街なか手助けサポートプロジェクト「たすけっと」

LINEアカウントを活用した、チャットボットによるライトな市民間のコミュニケーションにより、街なかで手助けを求める人と手助けしたい人のマッチングを図ることを目的とし、サービス受容性/UI開発・心のバリアフリー化・外国人観光客へのPRについての検証を行う。

報道機関各位

平成30年9月19日
総務企画局企画調整部企画課
環境局循環型社会推進部収集管理課

9月19日スタート！！ AIチャットボットを活用した『粗大ごみ収集受付』実証実験

福岡市では、市民サービスの向上と行政事務の効率化を図るため、9月19日より粗大ごみの収集受付にLINEアカウント上でAIチャットボットを活用した実証実験を開始いたします。

なお、この実証実験は、3月に福岡AIコミュニティで募集した「行政サービスの効率化を目的としたAI実証実験」にLINEグループからご提案いただき、取り組み始めたものです。

1 事業名

AIチャットボットを活用した粗大ごみ収集受付実証実験

2 実証実験の概要

粗大ごみの収集について、実証実験用に開設したLINEアカウント上のチャットボットで受け付けできるようにします。

3 実施期間

平成30年9月19日（水）～平成31年2月28日（木）（予定）

4 実施事業者

LINE株式会社 代表取締役 出澤 剛
株式会社オルターブース 代表取締役 小島 淳
さくらインターネット株式会社 代表取締役 田中 邦裕



Fukuoka AI Community（福岡AIコミュニティ）
市内企業等のAIを活用した労働生産性向上等を目的に活動する会員制組織



5 利用方法

- ① 「実証実験用に開設した LINE アカウント」を友だち追加



LINE アカウント名：福岡市粗大ごみ受付
LINE ID：@fukuokacity_sdg

※左のコードを読み取るか、LINE の友だちページから「福岡市粗大ごみ」を検索して友だち追加。

- ② トーク画面のメニューから「粗大ごみの申し込み」をタップし、トーク開始。



※利用方法の詳細については、下記のホームページを参照ください。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/kateigomi/hp/LINE-sodaigomi.html>

問合せ先

- ① A I 実証実験全体について

福岡市総務企画局企画調整部 担当：藤本，稲永

電話：092-711-4879（内線 1219） FAX：092-733-5582

- ② 粗大ごみ収集について

福岡市環境局循環型社会推進部収集管理課 担当：柿田，岩本

電話：092-711-4299（内線 2320） FAX：092-733-5907

市政記者 各位

平成 30 年 10 月 4 日
総務企画局企画調整部
保健福祉局総務部国民健康保険課

10 月 1 日スタート！！

国民健康保険レセプト点検自動化実証実験

福岡市では、市民サービスの向上と行政事務の効率化を図るため、10 月 1 日より AI を活用して国民健康保険レセプト点検の自動化を行う実証実験を開始いたしました。

なお、この実証実験は、3 月に福岡 AI コミュニティで募集した「行政サービスの効率化を目的とした AI 実証実験」にご提案いただき、取り組み始めたものです。

1 事業名

国民健康保険レセプト点検自動化実証実験

2 実証実験の概要

現在、福岡市では、国民健康保険のレセプト点検を実施しているが、この点検について AI を活用した効率的・効果的な点検の実証実験を行う。

※レセプト

患者が受けた診療について、保険医療機関が保険者（市町村や健康保険組合等）に請求する医療費の明細書のことで、診療報酬明細書（医科・歯科の場合）又は調剤報酬明細書（薬局における調剤の場合）ともいう。保険者は請求内容に誤りがないか点検し、支払額を確認している。

3 実施期間

平成 30 年 10 月 1 日（月）～平成 31 年 6 月末（予定）

4 事業提案者

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ九州

5 検証内容

- ・点検員による目視点検と AI 点検の比較検証
- ・AI 点検による点検効果の推移 等

福岡 AI コミュニティ

市内企業等の AI を活用した労働生産性向上等を目的に活動する会員制組織。



問合せ先

① AI 実証実験全体について

福岡市総務企画局企画調整部 担当：藤本，稲永

電話：092-711-4879（内線 1219） FAX：092-733-5582

② レセプト点検について

保健福祉局総務部国民健康保険課 担当：島崎，小陳

電話：092-711-4241（内線 2240） FAX：092-733-5441